



教育・保育提供区域等の 現状検討について

桑名市 保健福祉部 子ども家庭課

教育・保育提供区域とは

- 教育・保育提供区域とは・・・地方版子ども・子育て支援事業計画で市町村が、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域
- 桑名市では以下の理由から市全体を一つの教育・保育提供地域としている。
 - ①保護者の就労等により、自宅近くの教育・保育施設等ではなく、通勤途上や勤務地近くの施設を利用する場合があること、
 - ②自家用車を所有し使用することが一般的であること、
 - ③私立幼稚園・一部保育所においては、通園バスにより、市内広域で利用されていること 等

教育・保育提供区域の検討の必要性

- 子ども・子育て支援新制度施行後、低年齢児の保育需要が増加している。特に0歳児についてはニーズ調査結果から利用率を17.7%としているが、28年度利用率は27.2%だった。今後、低年齢児受入の施設整備を進める上で効果的な資源投下を行う必要があるため状況を検討したい。

学区別保育需要の動向 平成28年4月入所を中学校区単位で分析

3

- 学区内希望率 横計 居住している学区内の保育所に入所した児童 / 学区内に居住している保育が必要な児童 (%)
- 学区内入所率 縦計 居住している学区内の保育所に入所した児童 / 学区内の保育所の全入所児童 (%)
- %が高い場合 居住している学区の供給量が満たされている。もしくは居住している学区内への保育需要が高い。
- %が低い場合 居住している学区の供給量が足りない。もしくは居住している学区内への保育需要が低い。

	成徳 (供給)	明正 (供給)	光風 (供給)	陽和 (供給)	正和 (供給)	陵成 (供給)	光陵 (供給)	多度 (供給)	長島 (供給)	合計	学区内希望率
成徳 (需要)	93	25	48	11	4	0	0	2	3	186	50%
明正 (需要)	8	228	41	38	17	0	0	0	1	333	69%
光風 (需要)	10	46	164	28	1	3	1	0	0	253	65%
陽和 (需要)	9	50	41	243	3	0	2	1	1	350	69%
正和 (需要)	3	72	11	2	196	0	3	0	0	287	68%
陵成 (需要)	34	78	55	13	31	169	40	8	3	431	39%
光陵 (需要)	22	32	32	8	51	20	132	17	3	317	42%
多度 (需要)	3	0	0	3	1	1	0	333	1	342	97%
長島 (需要)	4	2	8	20	0	0	0	0	213	247	86%
全体	186	533	400	366	304	193	178	361	225	2,746	65%
学区内入所率	50%	43%	41%	66%	65%	88%	74%	92%	95%	68%	

縦計

横計

分析結果

- ▶ 多度学区、長島学区については学区内希望率、学区内入所率ともにきわめて高い。地域の居住者が地域内での保育を希望しており、供給が足りている。また、他の学区からの入所希望者が少ない状態が読み取れる。
- ▶ 陵成学区、光陵学区については学区内居住児童がそれぞれ431人及び317人に対し、学区内保育所の総数が193人及び178人である。学区内での供給量は不足しているが、就労等により他の学区での保育需要があるとも言える。

結論

- ▶ 多度学区、長島学区においては学区内で需要と供給が完結しており、また、旧桑名市学区から両学区への利用者の動きが見られない。
- ▶ 旧桑名市学区については陵成学区・光陵学区が供給不足ながら他の旧桑名市学区への利用者の動きが見られる。